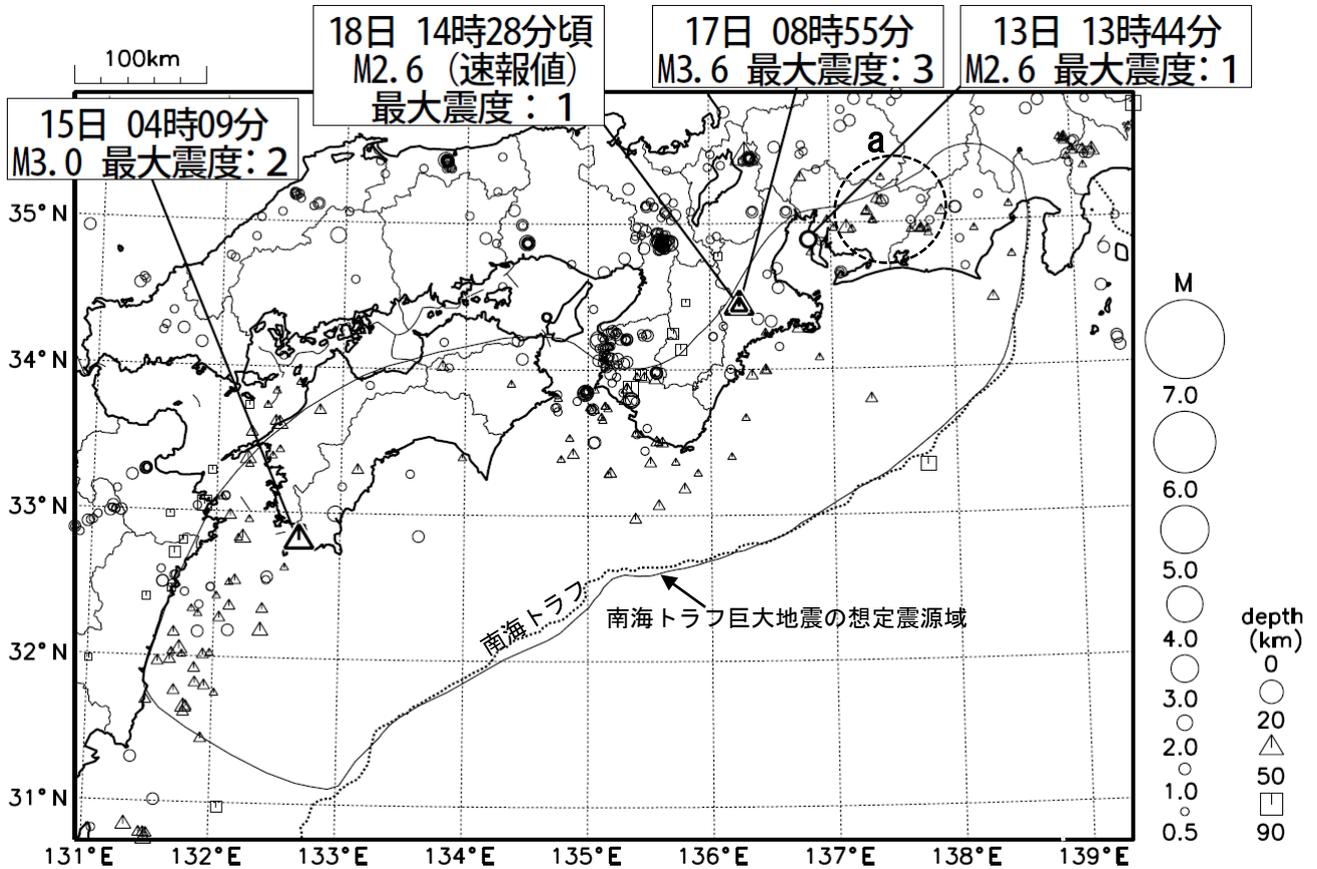


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 42

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年10月12日～10月18日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M \geq 0.5、震源の深さ0～90km）。

[概況]

13日頃から15日頃にかけて愛知・静岡・長野県境付近のプレート境界深部で短期的ゆっくりすべりが発生したと推定される。

17日08時55分に、三重県中部の深さ29kmでM3.6の地震が発生した。

[主な地震活動]

・17日08時55分に、三重県中部の深さ29kmでM3.6の地震（最大震度3）が発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{※1}と地殻変動]

[領域a]13日から17日にかけて、愛知・静岡・長野県境付近で深部低周波地震（微動）を観測した。

深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、13日頃から15日頃にかけて周辺に設置されている複数のひずみ計^{※2}に変化が現れた。これらは、プレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

※2：静岡県、気象庁のひずみ計。